

育てよう！鏡野のよい子シリーズ



『声で育てる』

先日、新聞の地域版を読んでみると、十数年前の教え子の写真と記事が載っていました。それは、金融機関につとめている彼が接客態度のコンテストで優勝したとのこと。相手に心のこもった言葉で対応できていたことが評価されたということでした。

小学校を卒業して何年かぶりに会ったそんな彼は、社会人となっていました。話をすると本当に気持ちのいい物言い、直接担任してはいなかった私も、その成長がとてもうれしく思えました。

彼のことで思い出すのは（申し訳ない）、若い女の先生に大きな声でしかられていた彼の姿でした。もともとは素直な性格の彼でしたが、思春期の入り口という年令のせい、心にもない物の言い方をしたのでしょう。日ごろ穏やかな女の先生が、とても大きな声でその言い方をしかっておられました。周りの者がびくつきするくらい勢いのある声でした。私も多少関

係がありましたので、はらはらしながら成り行きをみていました。

こんなことがあつてから、彼は少し変わったのを覚えています。何かに気づいたのか、彼はまた素直な言葉をとりもどしました。その女の先生の心からの声が彼をゆさぶったのだと感じました。

彼は、そういう心からの声に恵まれて育ったのでしょうか。だから大人になった時、人に対して正しく温かい心で接することのできる人になったのだと思います。

人の心を育てるのは、やはり心のこもった人の声だと思います。今、子どもたちの周りは、テレビ、ビデオなどの音があふれています。このような声は、子どもたちの声を育てるまでにはいたっていないことが少なくありません。

子どもたちに本当に伝えたい時、論じたい時、彼らの心をゆさぶることのできる声をかけてやりたいものです。

生徒指導推進連絡協議会

大野小学校

安藤 美枝



芳野保育園 115名



奥津保育園 46名



鶴喜保育園 46名



郷幼稚園 36名

ぼくたち わたしたちの 保育園・幼稚園



上齋原幼稚園 6名



大野保育園 69名



富保育園 16名



香南保育園 36名



のびのびひろば



(鏡野町保育協議会)